

⇒ 調査報告 ⇐

八十里越に関する調査報告（1）

—— 商圈分析および質問紙調査を中心に¹ ——

長尾雅信²，山崎義広³，八木敏昭⁴

本報告は、2016年に実施された「八十里越開通に伴う商圈・生活圏調査報告書」に関する新潟県三条市下田地区と福島県南会津郡只見町を対象とした商圈分析および地域住民を対象とした質問紙調査（以下、アンケート調査）の単純集計結果をまとめたものである。八十里越の歴史は古く、交通機関が整備されていない時代から越後と南会津を結ぶ道であった。人々の往来と地域の経済活動に利用され、幕末の武士である河井継之助の句にも詠まれた古道である。急峻な地形と日本有数の豪雪地帯である八十里越は、車社会などの時代の移り変わりによりかつてのように利用されなくなっていった。その後1970年代において八十里越を含む新潟県と福島県の区間が一般国道289号に指定されて以降、三条市塩野測字御所から只見町叶津入叶津に至る、総延長20.8kmの区間において国と両県により改築事業が進められてきた。現在では三条市と只見町を結ぶ道路を総称して「八十里越」と呼称されている。近年、工事の進展に伴い八十里越開通を見越した両県の様々な取り組みがなされ、交流、商流の変化に対する期待も高まりつつある。調査の目的はこうした八十里越開通に伴う商圈と生活圏の将来的変容を把握するものである⁵。

商圈分析においては福島県会津地方の17市町村の住民における三条市を含む9市町村の商業施設の小売り吸引力を修正ハフモデル（通産ハフモデル）により現状を分析し、また国道289号八十里越開通後を予測した。アンケート調査は菅野・若林（2008）による地域ブランド資産・価値評価モデルに関する設問とその他の設問から構成されている。設問1では地域住民による自身の居住する地域に対する地域ブランド資産と価値の評価について、設問2では自身の地域に対する愛着について、設問3では隣地区へのつながりや親近感、訪問意向などが調査された。また住民の隣地域に対するブランド意識や連想を把握するために、設問4では隣地域に対する地域ブランド資産と価値の評価について調査した。最後に性別や年齢などの回答者の属性を調

¹ 本稿は新潟県三条市からの受託研究である「八十里越調査事業」の研究成果の一部である。質問紙調査に協力いただいた三条市と只見町の住民の皆様、三条市役所、只見町役場には、ここに記して感謝の意を表したい。

² 新潟大学大学院技術経営研究科准教授

³ 新潟大学大学院技術経営研究科特任助教

⁴ 新潟大学教育・学生支援機構

⁵ 調査報告書は本稿で取り上げるハフモデルを用いた商圈調査、アンケート調査、定性調査により構成されている。

査した。アンケート項目数が多岐にわたるため本稿では回答者属性および設問1と設問4について報告する。

1. ハフモデルを用いた商圈分析

公刊データを利用し、ハフモデルにより三条市周辺の商業施設の小売り吸引力を分析した。

1.1 分析方法

福島県会津地方の17市町村の住民における、三条市を含む9市町村の商業施設の小売り吸引力を修正ハフモデル（通産ハフモデル）にて、現状を分析し、また国道289号八十里越が開通後を予測した。

なお分析対象の商業施設は、三条市を含む9市町村の代表的な大型商業施設とし、その商業施設が隣接する場合はそれをひとつの商業施設として扱った。小売吸引力の分析は市町村単位、商業施設からの距離（道のり）は各市町村市役所もしくは役場までとし、そこまで所用時間が短くなる場合は高速道路を用いることとした。表1-1は分析対象の商業施設と店舗面積の一覧である。

表1-1 分析対象の商業施設

所在市町村	商業施設名	店舗面積 (m ²)
新潟県三条市	イオン三条店	9,408
新潟県燕市	イオン県央店	17,139
新潟県長岡市	リバーサイド千秋	38,821
新潟県小千谷市	イオン小千谷店	16,626
新潟県魚沼市	小出ショッピングセンター（原信小出東店）	2,360
福島県会津若松市	アビタ会津若松店	16,848
福島県南会津町	ヨークベニマル田島店+エイトタウン南会津	8,654
福島県西郷村	イオン白河西郷店	22,967
福島県喜多方市	イオンタウン塩川	11,991

但し表中の店舗面積は以下の資料の数値を用いた。⁶

- ・新潟県ホームページ「5県内の大規模小売店舗一覧」⁷
- ・福島県ホームページ「大規模小売店舗立地法」
- ・一般社団法人日本ショッピングセンター協会ホームページ「全国都道府県別SC一覧（PFD）」⁸

⁶ <http://www.pref.niigata.lg.jp/shogyoshinko/1195575358287.html> (accessed December 27, 2016)

⁷ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021d/daiten.html> (accessed December 27, 2016)

⁸ http://www.jcsc.or.jp/data/pdf/list_of_shopping_centers.pdf (accessed December 27, 2016)

1.2 ハフモデルについて

今回用いたハフモデルの基本的な考え方は「買物客がある商業集積を選択する確率は、その売場面積に比例し、そこまでの距離に反比例する」というものであり (Huff, 1963), 大規模小売店舗法において、大型店出店が近隣商店街に及ぼす影響を算出する場合に使われるなど広く利用されている。

なお今回分析では、距離の抵抗係数 (λ) を 2 に固定した修正ハフモデル (通産ハフモデル) (板倉, 1988) を利用し、買物出向比率 (P_{ij}) およびこれに人口を掛けた消費者の買物出向人数 (E_{ij}) を小売り吸引力の指標にした。

$$P_{ij} = \frac{\left(\frac{S_j}{D_{ij}^\lambda} \right)}{\left(\sum_{j=1}^n \frac{S_j}{D_{ij}^\lambda} \right)} \quad E_{ij} = P_{ij} \cdot C_i$$

P_{ij} : 買物出向比率 (i 地点の消費者から j 商業集積に買物に行く確率)

S_j : j 商業集積の売場面積

D_{ij} : i 地点から j 商業施設までの距離 (道のり)

λ : 距離の抵抗係数

※今回は $\lambda = 2$ の修正ハフモデル (通産ハフモデル) を用いる。

n : 競合商業集積数

E_{ij} : 消費者の買物出向人数

C_i : i 地域の消費者数 (人口)

※今回は平成27年国勢調査の値を用いる。

1.3 分析結果

上記のような方法で、福島県会津地方における、三条市のイオン三条店、燕市のイオン県央店および長岡市のリバーサイド千秋の買物出向比率 (P_{ij}) および消費者の買物出向人数 (E_{ij}) を算出した。これらの結果は表 1-2 及び表 1-3 の通りである。

現状は、イオン三条店の買物出向比率 (P_{ij}) は、福島県南会津郡では只見町が 5.75% と最大なもの、南会津町は自町を対象とした商業施設があるため 0.00% と著しく低い。大沼郡は金山町と三島町が 2% を超すものの、会津若松市に隣接する会津美里町は 0.23% と低い値を示す。河沼郡は柳津町が 1.63% と比較的高いものの、会津若松市に隣接する会津坂下町や湯川村は

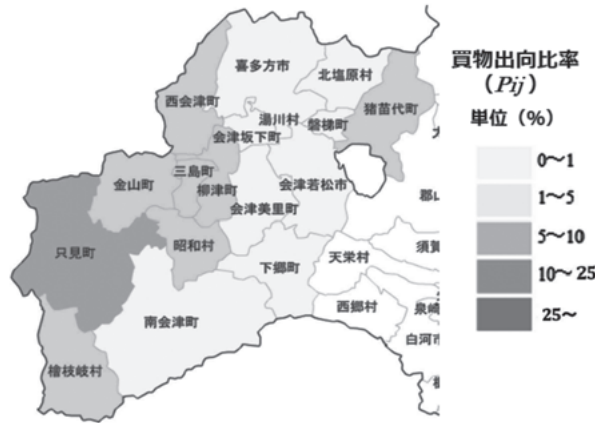
0%台の低い値である。耶麻郡は西会津町が3.55%と高い値を示すものの、他の町村は0もしくは1%台の低い値である。会津若松市、喜多方市は自市に対象とした商業施設があるため低位である。イオン県央店およびリバーサイド千秋は、イオン三条店と同じような傾向を示すが、イオン三条店より店舗面積が広いため、買物出向比率は高い。只見町におけるリバーサイド千秋の買物出向比率は28.28%と非常に高い影響があるようである（図1-1）。

買物出向比率に人口を掛けた、消費者の買物出向人数（ E_{ij} ）の分析結果を見ると、買物出向比率（ P_{ij} ）の高い只見町と、人口が比較的多く、役場とその近隣の商業施設の離れている猪苗代町が高い値を示す。イオン三条店では、現状で只見町の257名が最大で、猪苗代町が256名、西会津町が234名と続く。イオン県央店およびリバーサイド千秋もほぼ同じような傾向を示す。

表1-2 現状の福島県会津地方における各商業施設の買物出向比率（ P_{ij} ）と買物出向人数（ E_{ij} ）

	人口 (人)	三条市		燕市		長岡市		
		イオン三条店		イオン県央店		リバーサイド千秋		
		P_{ij}	E_{ij} (人)	P_{ij}	E_{ij} (人)	P_{ij}	E_{ij} (人)	
南会津郡	只見町	4,470	5.75%	257	9.83%	439	28.28%	1,264
	檜枝岐村	614	3.67%	23	6.45%	40	16.77%	103
	南会津町	16,247	0.00%	0	0.00%	0	0.01%	1
	下郷町	5,786	0.41%	24	0.73%	42	1.87%	108
大沼郡	三島町	1,668	2.27%	38	4.03%	67	7.43%	124
	金山町	2,175	2.89%	63	5.01%	109	13.61%	296
	昭和村	1,322	1.57%	21	2.75%	36	7.27%	96
	会津美里町	20,932	0.23%	47	0.40%	84	0.75%	158
河沼郡	会津坂下町	16,320	0.47%	77	0.84%	137	1.20%	195
	湯川村	3,207	0.19%	6	0.33%	11	0.49%	16
	柳津町	3,538	1.63%	58	2.90%	102	3.69%	131
耶麻郡	北塩原村	2,810	0.29%	8	0.52%	15	0.75%	21
	西会津町	6,583	3.55%	234	6.27%	413	8.17%	538
	磐梯町	3,581	0.46%	16	0.81%	29	2.18%	78
	猪苗代町	15,047	1.70%	256	3.03%	456	4.49%	676
会津若松市		124,085	0.05%	63	0.09%	113	0.14%	169
喜多方市		49,421	1.73%	61	0.22%	109	0.31%	152
合 計		277,806	-	1,252	-	2,202	-	4,126

図1-1 現状のイオン三条店の買物出向比率 (Pij)



国道289号八十里越が開通すると、会津地方南部の7町村で、イオン三条店、イオン県央店およびリバーサイド千秋の買物出向比率 (Pij) がおおそ向上する。只見町においてはイオン三条店の買物出向比率が5.75%から10.54%と約5ポイント向上する。またこの変化量は只見町、檜枝岐村、金山町、三島町、昭和村、下郷村、南会津町の順に大きい。また、リバーサイド千秋は只見町で買物出向比率が低下している（図1-2）。

消費者の買物出向人数 (Eij) は、八十里越が開通すると会津地方南部の7町村で、イオン三条店の買物出向人数が312名増加する。これは現在の会津地方全体の買物出向人数1,252名の24.9%に相当し、大幅な増加が見込める。またイオン県央店は506名増加するものの、リバーサイド千秋は只見町で32名減少するため合計で68名の増加に留まる。

表1-3 八十里越開通後の福島県会津地方における各商業施設の買物出向比率(Pij)と買物出向人数(Eij)

	人口 (人)	三条市		燕市		長岡市		
		イオン三条店		イオン県央店		リバーサイド千秋		
		Pij	Eij(人)	Pij	Eij(人)	Pij	Eij(人)	
南会津郡	只見町	4,470	10.54%	471	17.49%	782	27.56%	1,232
	檜枝岐村	614	5.39%	33	9.37%	58	17.56%	108
	南会津町	16,247	0.00%	0	0.00%	1	0.01%	1
	下郷町	5,786	0.62%	36	1.09%	63	2.06%	119
大沼郡	三島町	1,668	2.91%	49	5.02%	84	9.15%	153
	金山町	2,175	5.19%	113	8.87%	193	15.54%	338
	昭和村	1,322	2.62%	35	4.54%	60	8.30%	110
その他 (※)	245,524	-	826	-	1,468	-	2,133	
合計	277,806	-	1,563	-	2,708	-	4,193	
開通による増減	-	-	+312	-	+506	-	+68	

(※) 但し、表1-3に挙げた7町村以外の10市町村をまとめて「その他」とした。これら10市町村は、八十里越が開通しても所要時間の短縮にならない。

図1-2 八十里越開通後のイオン三条店の買物出向比率変化量 (Eij)



1.4 ハフモデルによる商圈分析のまとめ

ハフモデルにより三条市周辺の商業施設の売り吸引力を分析し、福島県南会津郡只見町をはじめ南会津地方からの買い物客見込み数を把握した。しかし、この分析はあくまでも試算であり、実際の買い物客数では無い。また関根（1987）は、ハフモデルは商業施設の本質的機能である売場面積にしか注目しておらず、消費者は商業施設に、本質的機能としての売り場面積の他に、品揃えや価格水準、また店舗ミックス（業種、業態）、副次的に駐車場や娯楽施設、雰囲気として店舗や商業集積のデザイン、サービスとして製品サービスや販売サービス、イメージとして歴史や広告、イベントなども勘案すべきとしている。しかしこれら商業施設に関しすべてを数値化し、また消費者の嗜好や購買力、商業施設までの移動手段なども加えると膨大な計算量となるものの、得られた結果が事実を正確に近似するかは甚だ疑問である。

よって、ハフモデルによる試算では、どの地域で三条市周辺の商業施設の影響を及ぼすかを示しているか定性的に捉えるものである。次策として、行政施策等により変化する生活者心理を把握することにより、南会津地域を始めとする会津地方への商圈拡大に向け、よりの確な施策がとられることができよう。

2. 質問紙調査の概要

アンケート調査は2016年10月下旬から11月中旬にかけて三条市下田地区（以下、下田地区）、南会津郡只見町（以下、只見町）の住民を対象に郵送法で行った。三条市役所及び只見町役場により通常行われている住民調査のサンプル抽出と同様に各1,000通が各地域住民の世帯に配布された。回収率について三条市下田地区は432部（43.2%）であり、只見町は429部（42.9%）であり両自治体が近いウエイトとなった。

2.1 回答者属性

アンケートでは、回答者属性として性別、年齢、職業、居住地区、居住年数、世帯収入を調査した。各表は無回答者を含めた集計であり、各サンプルの割合を示している。

回答者の性別について下田地区は男性が48.1%、女性が45.4%であるのに対し、只見町は男性が60.8%、女性が37.8%と偏りがある。年齢構成で見ると下田地区は60代以上がしめる割合は46.5%であり、只見町は40.5%である。三条市全体の60代の人口(37,351人)の割合が37.3%であるため、それよりも高い結果となっている。男女比との関係を見る下田地区は各年代において同程度であるが、只見町は50代以降の男性が約70%となる。回答者の職業について下田地区は「民間企業・団体、公務員などのフルタイムの仕事」、「無職」、「自営業」の順で割合が高く、只見町も同様であった。

居住地区について下田地区の3地区(長沢、森町、鹿峠)は、長沢地区に47.7%が居住し、森町地区26.2%、鹿峠20.4%と続く。只見町の3地区(只見、朝日、明和)では只見地区に36.1%が居住し、朝日32.9%、明和30.1%となっている。居住年数は下田地区では20年以上の居住者が77.3%を占めており、只見町についても64.6%とその割合は高い。下田地区の回答者の10年未満の居住年数の合計は8.8%であり、只見町の19.5%と比べても、下田地区の居住年数の割合の高さが表れている。また、世帯収入については両地区を比較すると200万円から400万円未満の世帯は只見町が多く、600万円から800万円未満は下田地区の方が多かった。

2.2 設問1における地域ブランド資産・価値の評価について

設問1では地域住民からみた自身の居住する地域ブランド資産・価値の評価を調査した。質問項目は菅野・若林(2008)による「地域ブランド資産・価値評価モデル」を基にしているが、地方大都市の居住者を対象とした調査項目が含まれるため、これらを中山間地域向けの調査項目に再設計し実施した⁹。設問1-1の地域ブランド資産の評価については38の調査項目からなっており、その単純集計は付表2の通りである。

地域ブランド資産に関する質問は大きくわけて、歴史や文化に関するもの、生活インフラに関するもの、食文化や自然資産に関するもの、コミュニティや教育環境に関するものに分けられる。調査項目数が多いため特徴的な回答傾向がみられたものについて報告する。

歴史や文化に関する調査項目については両地区の住民の評価が肯定的なものと否定的なものにわかれるものがあった。「伝統文化の保存について積極的であると思う」という調査項目については、三条市・下田の住民は約35%が肯定的に評価したのに対し、只見町の住民は約50%が肯定的に回答した。両地区の住民ともに共通した回答傾向が見られた例としては「歴史を感じさせる場所があると思う」などに対する肯定的な回答である。こうした例以外にも歴史や伝統

⁹ 地域ブランド資産評価については「交通渋滞が少ないと思う」、「研究所が充実していると思う」などを削除し、「魅力的な宿泊施設があると思う」などの項目を追加した。地域ブランド価値評価については「ステータスやプライドが感じられると思う」を「誇りを感じられると思う」など表現を変え、「新しい人間関係が広がると思う」などの項目を追加した。

文化に関する項目では、三条市・下田の住民に比べ只見町の住民の方が肯定的に評価する傾向が見られた。他方で「歴史的なまち並みが残っていると思う」という調査項目について両地区の住民の約60%以上が否定的な回答をしている。また「芸術や伝統芸能などの文化を身近に体験できる場がある」と思うかについても両地区の住民とも、約50%が否定的な回答をしている。また「文化施設がよく利用されていると思う」という調査項目では只見町の住民の半数以上が否定的な評価であり、下田地区の3割台の否定的な評価を大きく上回っている。なお「歴史上有名な人物を輩出していると思う」については三条市・下田の住民の約50%以上が肯定的に回答しているのに対し、只見町の住民の約60%が否定的な回答をしており対照的な結果となった。

生活インフラに関する質問項目では生活インフラについての調査項目では両地区ともに否定的な評価が目立つものであった。「生活が便利であると思う」について下田地区は約60%が、只見町は約70%が否定的な評価を下している。「子育てしやすい環境であるか」や「教育に熱心な地域であるか」といった調査項目では「どちらともいえない」とする評価傾向が両地区とも見られた。また「新しい文化の受け入れ・育成に積極的であると思う」については両地区とも否定的な回答傾向であった。さらに「医療機関が充実していると思う」については下田地区が約80%以上の住民が否定的な評価であるのに対し、只見町は60%に留まった。他方、福祉サービスの充実については、下田地区は約36%の住民が否定的な評価であったのに対し、只見町は約34%の住民が肯定的な評価であった。働く場の充実では約70%、地域内の交通機関の利便性については約80%以上の両地区の住民が否定的な評価であった。また経済・商業の中心となる産業が地域の活性化に貢献しているかについては両地区とも約60%以上が否定的な評価であった。さらに魅力的な宿泊施設の存在を問う項目については、両地区ともに否定的な結果となった（三条市側が約52%、只見町側が約44%）。

食文化に関する調査項目については、「代表的な食べ物があるか」、「食べ物おいしいか」といった調査項目については両地区の住民とも共通して肯定的な評価を下している。おいしい料理屋が存在するかについては、両地区とも肯定的な評価と否定的な評価が拮抗した結果となったが、共通するのは「どちらともいえない」という回答割合の高さであった。地域の特産品については両地区とも約40%以上の肯定的な評価であり、郷土料理の存在については下田地区が約53%、只見町が約62%という肯定的な評価であった。

コミュニティや教育環境に関する調査項目では、両地区の評価の違いを示したものと類似した傾向を示したものにわかれた。「人と人の交流が活発な地域であると思う」、「世代を超えた交流があると思う」かについては、両地区の住民とも約半数がどちらともいえないと回答しつつも、只見町の住民の方が肯定的な評価の割合が若干高かった。「住民とよそから来た人が交流できると思う」についても、両地区の住民が否定的な評価をする割合が高かった。なお同項目については、若干下田地区の住民の方が否定的な評価の割合が高かった。他方、「住民同士が交流できる場があると思う」については、只見町の住民の方が肯定的な評価の割合が高かったも

の、「多様な価値観や趣味を持った人たちの交流の場があると思う」については、両地区ともに約40%以上が否定的な評価を下す結果となった。「地域に特徴的な気質、価値観があると思う」については下田地区に対して只見町が評価する傾向が高く、約40%以上の割合となっている。「美しい街並みがあると思う」かについては両地区ともに否定的な回答傾向であったが、「豊かな自然」や「地域固有の自然」を問う調査項目については、両地区とも肯定的な評価の割合が高く、特に只見町の住民の評価の割合の高さが目立つ結果となった。

2.3 両地区の「地域ブランド価値」評価

地域に対するブランド価値の評価を調査する項目についての集計結果を報告する。設問1-2の地域ブランド価値の評価については26の調査項目からなっており、その単純集計は付表3の通りである。地域ブランド価値は大きく分けて人間関係に関連した調査項目、自己実現に関連した調査項目、安心感やゆとりに関連した調査項目、心身の健康や内面の充実に関連した調査項目にわけられる。調査項目数が多いため特徴的な回答傾向がみられたものについて報告する。

人間関係に関連した調査項目では両地区ともに肯定的な評価が下される傾向にあった。「人の温かさを感じられる」、「人とのふれあいを感じられる」、「人と人との心のつながりが感じられる」といった調査項目では両地区の住民の約50%から60%以上が肯定的な評価であった。「よそから来た人を温かく受け入れる土地柄だと思ふ」といった調査項目においても両地区の住民とも約40%以上が肯定的な評価であった。しかしながら人間関係に関連した調査項目の中で「その地域に住む人、集まる人達の価値観に共感・共鳴できると思う」かについては、両地区とも「どちらともいえない」と回答する割合が約50%から60%となっており、肯定的な評価は約30%にとどまった。

自己実現に関連した調査項目では両地区ともに「どちらともいえない」と回答する割合が高い傾向にあり、ついで否定的な回答傾向が目立つものであった。「刺激が得られると思う」、「贅沢な気分になれると思う」、「知的な気分を味わえる」といった項目では両地区の住民ともに約40%から50%以上の否定的な評価であった。こうしたなかで「誇りを感じられると思う」かについての調査項目は「どちらともいえない」との回答が両地区とも半数を占めるものの、肯定的な評価と否定的な評価にわかれている。下田地区の住民は約17%が肯定的な評価であり、否定的な評価は約30%であったのに対し、只見町の住民は約20%が肯定的な評価であり、否定的な評価は約25%であった。

安心感やゆとりに関連した調査項目については両地区の住民とも「どちらともいえない」とする回答の割合が共通して高く、ついで否定的な評価の割合が高い項目、評価の分かれる項目といった傾向であった。「経済的にゆとりのある暮らしができる」、「老後も安心した暮らしができる」といった調査項目では両地区の住民ともに約40%から約50%の割合で否定的な評価の傾向にあった。他方、「安心した生活ができると思う」、「ストレスの少ない生活ができると思う」

かについては、「どちらともいえない」を中心に肯定的な評価と否定的な評価が似通ったウエイトで分かれた結果となった。

心身の健康や内面の充実に関連した調査項目では「どちらともいえない」と回答する割合が両地区とも約40%台前後と共通しており、肯定的な評価と否定的な評価が分かれる結果となった。「ストレスの少ない生活ができるか」、「日常から解放された気分になれるか」、「充実した毎日がおくれるか」、については両地区の住民とも、「どちらともいえない」を中心に肯定的な評価と否定的な評価が同様の割合であった。また、「神秘的な気分になれると思うか」、「新しい人間関係が広がると思うか」については両地区の住民とも約30%から40%以上が否定的な回答傾向にあった。他方、「原風景を思い起こさせられると思うか」については両地区の住民ともに約40%以上が肯定的な回答傾向にあった。

2.4 小括

両地区における地域ブランド資産に対する評価について、それぞれの地区の住民が幾つかの点で興味深い回答傾向を示すものであった。例えば医療機関や福祉サービスへの評価などについては、各地区の地域医療に対する現状の違いが反映されていると思われる。また歴史を感じさせる場所についても下田地区には「諸橋轍次記念館」が、只見町には「河井継之助記念館」などの施設が存在するが、これらを指すものなのか、下田では八木鼻地区といったエリアを指すのかは判然としない。こうした既存施設が存在する地域における評価と地域ブランド資産としての評価の関係について、それぞれの地区の実情について照らし合わせた上で今後分析が必要である。こうした点は多岐にわたり三条市下田地区にはアウトドア用品の著名な企業であるスノーピークが存在し、地域を中心に様々な取り組みを行っているが、そのインパクトを見るためにも地区ごとの分析が必要である。また人と人の交流についての質問項目についても人口動態や地区別からみた分析が必要であろう。他方、「地域ブランド価値」についても、コミュニティ資産との関連で分析が必要である。交流する機会や場についての否定的な評価傾向に対して、つながりや結びつきについては肯定的な評価を下している点などである。こうした点は人口動態的な区分けで今後検証が必要であろう。さらに、地域ブランド資産への回答に比べ地域ブランド価値は「どちらともいえない」とする回答割合が両地区とも共通して見られたことについて分析上では留意する必要がある。この点は本稿では取り上げなかった設問4における「隣地域に対する地域ブランド資産と価値の評価」の結果が、地域ブランド資産・価値ともに「どちらともいえない」とする回答傾向が極めて強く見られた点と共通している。

3. 設問3における八十里越え開通にともなう調査項目

設問3においては自由記述を含む5つの調査項目からなる八十里越え開通にともなう隣地区へのつながりや訪問意向が調査された。結果は両地区ともに肯定的な評価を下す傾向が見られ

た。単純集計結果は付表4の通りである。「歴史や文化的つながりがあると思うか」については下田地区の住民が約50%、只見町の住民は約43%が肯定的な評価を下している。「親近感があると思うか」について下田地区は約35%が肯定的であり、約37%がどちらともいえないという評価をくだしている。只見町は約29%が肯定的であり、約37%がどちらともいえないという評価であった。八十里越え開通後の意向を問う「これから交流を深めたいか」については下田地区の住民が約60%、只見町が約66%と肯定的な評価を下しており、「足を運びたいか」については両地区の住民が約80%と肯定的な評価を下している。これらの結果は両地区住民のこれまでの歴史的なつながりや親近感を示すと同時に、八十里越え開通という具体的な出来事をきっかけとした交流・訪問意向の高まりを示唆するものであった。

4. まとめ

本稿では八十里越開通を見越した三条市・下田地区と南会津郡只見町に対し、主に商圏と生活圏を中心とした報告を行った。商圏については修正ハフモデルを用い三条市を含む9市町村の代表的な大型商業施設を中心とした小売吸引力の変化を分析した。結果は三条市側の大型商業施設への買物出向比率の上昇がみられるものであった。アンケート調査では各地区の住民の商圏・生活圏に対する意識を調べるために、地域ブランド資産・価値評価モデルを中心とした質問紙調査を実施した。結果は八十里越開通に伴う両地区の住民の期待は高いものの、それぞれの地区に対する具体的なイメージについての課題が示唆されるものであった。これらの結果を踏まえ実務的インプリケーションを示す。

八十里越の開通に伴う影響については以前の調査から防災面を含む多様な便益がもたらされる点が指摘されてきた。走行時間・経費短縮や災害時への緊急ネットワークの形成、第三次救急医療機関へのアクセス性の向上、物流効率化の支援などである¹⁰。今回の調査は、八十里越が開通した際、新潟県と福島県のいわば玄関口となる三条市下田地区及び南会津郡只見町の商圏と生活圏に焦点をあてた調査、特に「地域ブランド」を軸とした定量的・定性的調査であり、これらにもとづいた視点及びアプローチは今回が初となるものであった。

本調査の意義はかねてより双方の地域住民にとって八十里越開通の期待が高まっているとされていた点について、その期待を定量的・定性的両面において明らかにした点にある。開通にともなう商圏分析によって三条市側の大型商業施設へ只見町サイドが吸引される可能性が予測された。このことは大型商業施設が存在しない三条市下田の住民にとって新たな観光の機会であると同時に、「素通り」のリスクが懸念される。またアンケート調査では地域ブランドを軸として地域住民にとって双方の地域が具体的にどのように映るかが明らかとなった。その一方で、今回の調査を通じて様々な実務的な課題が示唆された。その代表的な例は居住する自身の地域に対する地域ブランド資産・価値に対する評価に比して、双方の隣の地区に対する評価が必ず

¹⁰ 北陸地方整備局（2011）『国道289号八十里越再評価資料』など。

しも明確なものではなかったという結果である。定量的な調査からは双方の地域住民による自身の地域に対する愛着の高さと、八十里越開通に伴う双方の地区の交流の増加などに対する期待が示された一方で、お互いについて「知らない」ことが未だに多い点が示唆されている。例えるならば八十里越え開通に伴う双方の地域住民の思いは期待という点において「両想い」である一方で、互いを未だに「理解する」までには至っていない。従来から様々な交流事業が展開され、それらは一定の効果は上げてきたものの、本調査結果を踏まえれば現在までの交流事業の積み重ねをもう一段回、量的・質的に見直し、新たな施策を試みる時期にきていることは明らかである。

以上の結果をふまえながら並行して実施された定性調査については稿を改めて報告するものである。

参考文献

- Huff D. L. (1963), "A probabilistic analysis of shopping center trade areas", *Land Economics*, vol.39, No.1, pp.81-90.
- 板倉勇 (1988) 『大型店出店影響度の読み方 — 通産ハフ・モデルの手引き』 中央経済社.
- 菅野佐織・若林宏保 (2008) 「ブランド・シティ構築戦略と資産 - 価値評価モデルの開発」『日本マーケティングジャーナル』 107号, pp.82-96.
- 関根孝 (1987) 「都市再開発と小売の競争構造」『総合都市研究』 30号, pp.103-119.

付録

付表1 回答者属性

問1 性別

	下田地区	構成比	只見町	構成比
男性	208	48.1%	261	60.8%
女性	196	45.4%	162	37.8%
無回答	28	6.5%	6	1.4%
合計	432	100%	429	100%

問2 年齢

	下田地区	構成比	只見町	構成比
20代	32	7.4%	33	7.7%
30代	42	9.7%	56	13.1%
40代	68	15.7%	94	21.9%
50代	77	17.8%	71	16.6%
60代	148	34.3%	163	38.0%
70代	41	9.5%	7	1.6%
80代	1	0.2%	3	0.7%
無回答	23	5.3%	2	0.5%
合計	432	100%	429	100%

問3 職業

	下田地区	構成比	只見町	構成比
自営業	53	12.3%	60	14.0%
民間企業・団体, 公務員 などフルタイムの仕事	174	40.3%	192	44.8%
臨時・パート勤めの人	50	11.6%	65	15.2%
無職	98	22.7%	73	17.0%
その他	33	7.6%	32	7.5%
無回答	24	5.6%	7	1.6%
合計	432	100%	429	100%

問4 居住地区

	下田地区	構成比		只見町	構成比
長沢地区	206	47.7%	只見地区	155	36.1%
森町地区	113	26.2%	朝日地区	141	32.9%
鹿峠地区	88	20.4%	明和地区	129	30.1%
無回答	25	5.8%	無回答	4	0.9%
合計	432	100%		429	100%

問5 居住年数

	下田地区	構成比	只見町	構成比
1年未満	4	0.9%	13	3.0%
1～2年未満	1	0.2%	16	3.7%
2～5年未満	12	2.8%	21	4.9%
5～10年未満	21	4.9%	34	7.9%
10～20年未満	33	7.6%	64	14.9%
20年以上	334	77.3%	277	64.6%
無回答	27	6.3%	4	0.9%
合計	432	100%	429	100%

問6 世帯収入

	下田地区	構成比	只見町	構成比
200万円未満	34	7.9%	57	13.3%
200万円～400万円未満	103	23.8%	122	28.4%
400万円～600万円未満	87	20.1%	90	21.0%
600万円～800万円未満	66	15.3%	44	10.3%
800万円～1,000万円未満	26	6.0%	34	7.9%
1,000万円～1,200万円未満	15	3.5%	9	2.1%
1,200万円以上	2	0.5%	3	0.7%
わからない	68	15.7%	56	13.1%
無回答	31	7.2%	14	3.3%

付表2 両地区の地域ブランド資産評価

(1) 歴史を感じさせる場所があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	49	11.34%	42	9.72%
そう思う	238	55.09%	226	52.31%
どちらともいえない	77	17.82%	80	18.52%
そう思わない	52	12.04%	62	14.35%
全くそう思わない	12	2.78%	16	3.70%
無回答	4	0.93%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(2) 伝統文化の保存に積極的であると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	19	4.40%	49	11.34%
そう思う	134	31.02%	168	38.89%
どちらともいえない	173	40.05%	132	30.56%
そう思わない	87	20.14%	61	14.12%
全くそう思わない	14	3.24%	16	3.70%
無回答	5	1.16%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(3) 芸術、伝統芸能などの文化的な活動が盛んであると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	9	2.08%	32	7.41%
そう思う	100	23.15%	119	27.55%
どちらともいえない	172	39.81%	167	38.66%
そう思わない	126	29.17%	89	20.60%
全くそう思わない	21	4.86%	17	3.94%
無回答	4	0.93%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(4) 地域に受け継がれている独自の芸術、伝統芸能があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	17	3.94%	44	10.19%
そう思う	162	37.50%	193	44.68%
どちらともいえない	121	28.01%	98	22.69%
そう思わない	102	23.61%	75	17.36%
全くそう思わない	26	6.02%	15	3.47%
無回答	4	0.93%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(5) 歴史的なまち並みが残っていると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	5	1.16%	4	0.93%
そう思う	35	8.10%	27	6.25%
どちらともいえない	134	31.02%	98	22.69%
そう思わない	183	42.36%	231	53.47%
全くそう思わない	69	15.97%	65	15.05%
無回答	6	1.39%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(6) 芸術や伝統芸能などの文化を身近に体験できる場があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	10	2.31%	12	2.78%
そう思う	68	15.74%	74	17.13%
どちらともいえない	137	31.71%	139	32.18%
そう思わない	162	37.50%	156	36.11%
全くそう思わない	49	11.34%	45	10.42%
無回答	6	1.39%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(7) 歴史上有名な物語があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	32	7.41%	23	5.32%
そう思う	178	41.20%	128	29.63%
どちらともいえない	102	23.61%	118	27.31%
そう思わない	89	20.60%	122	28.24%
全くそう思わない	28	6.48%	33	7.64%
無回答	3	0.69%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(8) 芸術や伝統芸能などの文化に対する住民の興味が高いと思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	7	1.62%	10	2.31%
そう思う	49	11.34%	67	15.51%
どちらともいえない	192	44.44%	175	40.51%
そう思わない	140	32.41%	142	32.87%
全くそう思わない	40	9.26%	30	6.94%
無回答	4	0.93%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(9) 歴史上有名な人物を輩出していると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	57	13.19%	6	1.39%
そう思う	167	38.66%	49	11.34%
どちらともいえない	94	21.76%	120	27.78%
そう思わない	86	19.91%	183	42.36%
全くそう思わない	25	5.79%	65	15.05%
無回答	3	0.69%	6	1.39%
計	432	100%	429	100%

(10) 地域で受け継がれている生活文化があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	18	4.17%	34	7.87%
そう思う	168	38.89%	206	47.69%
どちらともいえない	151	34.95%	120	27.78%
そう思わない	75	17.36%	54	12.50%
全くそう思わない	15	3.47%	11	2.55%
無回答	5	1.16%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(11) 芸術家や文化人に好まれる場所があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	14	3.24%	14	3.24%
そう思う	129	29.86%	110	25.46%
どちらともいえない	160	37.04%	145	33.56%
そう思わない	103	23.84%	129	29.86%
全くそう思わない	22	5.09%	26	6.02%
無回答	4	0.93%	5	1.16%
計	432	100%	862	100%

(12) 文化施設がよく利用されていると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	8	1.85%	5	1.16%
そう思う	56	12.96%	42	9.72%
どちらともいえない	199	46.06%	147	34.03%
そう思わない	128	29.63%	186	43.06%
全くそう思わない	36	8.33%	45	10.42%
無回答	5	1.16%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(13) 物価が高くなく、生活費の負担が少ないと思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	10	2.31%	6	1.39%
そう思う	61	14.12%	44	10.19%
どちらともいえない	173	40.05%	146	33.80%
そう思わない	135	31.25%	153	35.42%
全くそう思わない	48	11.11%	75	17.36%
無回答	5	1.16%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(14) 生活が便利であると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	4	0.93%	2	0.46%
そう思う	58	13.43%	20	4.63%
どちらともいえない	113	26.16%	76	17.59%
そう思わない	157	36.34%	185	42.82%
全くそう思わない	98	22.69%	141	32.64%
無回答	2	0.46%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(15) 新しい文化の受け入れ、育成に積極的であると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	2	0.46%	6	1.39%
そう思う	34	7.87%	34	7.87%
どちらともいえない	199	46.06%	165	38.19%
そう思わない	148	34.26%	157	36.34%
全くそう思わない	45	10.42%	63	14.58%
無回答	4	0.93%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(16) 良質の温泉があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	56	12.96%	27	6.25%
そう思う	201	46.53%	134	31.02%
どちらともいえない	103	23.84%	132	30.56%
そう思わない	46	10.65%	87	20.14%
全くそう思わない	22	5.09%	41	9.49%
無回答	4	0.93%	8	1.85%
計	432	100%	429	100%

(17) 子育てしやすい環境であると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	15	3.47%	8	1.85%
そう思う	101	23.38%	118	27.31%
どちらともいえない	177	40.97%	162	37.50%
そう思わない	97	22.45%	95	21.99%
全くそう思わない	39	9.03%	44	10.19%
無回答	3	0.69%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(18) 教育に熱心な地域であると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	5	1.16%	12	2.78%
そう思う	53	12.27%	96	22.22%
どちらともいえない	225	52.08%	206	47.69%
そう思わない	105	24.31%	85	19.68%
全くそう思わない	41	9.49%	28	6.48%
無回答	3	0.69%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(19) 医療機関が充実していると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	3	0.69%	5	1.16%
そう思う	24	5.56%	45	10.42%
どちらともいえない	41	9.49%	109	25.23%
そう思わない	169	39.12%	160	37.04%
全くそう思わない	178	41.20%	108	25.00%
無回答	17	3.94%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(20) 福祉サービスが充実していると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	8	1.85%	12	2.78%
そう思う	75	17.36%	133	30.79%
どちらともいえない	174	40.28%	177	40.97%
そう思わない	108	25.00%	76	17.59%
全くそう思わない	47	10.88%	29	6.71%
無回答	20	4.63%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(21) 働く場が充実していると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	4	0.93%	0	0.00%
そう思う	19	4.40%	18	4.17%
どちらともいえない	110	25.46%	100	23.15%
そう思わない	183	42.36%	191	44.21%
全くそう思わない	98	22.69%	111	25.69%
無回答	18	4.17%	9	2.08%
計	432	100%	429	100%

(22) 地域内での交通機関が発達していて、移動に便利だと思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	2	0.46%	0	0.00%
そう思う	14	3.24%	11	2.55%
どちらともいえない	55	12.73%	52	12.04%
そう思わない	156	36.11%	180	41.67%
全くそう思わない	187	43.29%	183	42.36%
無回答	18	4.17%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(23) 経済・商業の中心となる産業があり、地域の活性化に貢献していると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	0	0.00%	2	0.46%
そう思う	25	5.79%	29	6.71%
どちらともいえない	115	26.62%	124	28.70%
そう思わない	160	37.04%	171	39.58%
全くそう思わない	115	26.62%	101	23.38%
無回答	17	3.94%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(24) 魅力的な宿泊施設があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	8	1.85%	4	0.93%
そう思う	56	12.96%	76	17.59%
どちらともいえない	124	28.70%	156	36.11%
そう思わない	123	28.47%	138	31.94%
全くそう思わない	102	23.61%	53	12.27%
無回答	19	4.40%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(25) その地域を代表する食べ物があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	23	5.32%	24	5.56%
そう思う	182	42.13%	171	39.58%
どちらともいえない	122	28.24%	134	31.02%
そう思わない	56	12.96%	80	18.52%
全くそう思わない	30	6.94%	17	3.94%
無回答	19	4.40%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(26) 食べ物がおいしいと思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	59	13.66%	57	13.19%
そう思う	243	56.25%	225	52.08%
どちらともいえない	81	18.75%	114	26.39%
そう思わない	22	5.09%	17	3.94%
全くそう思わない	6	1.39%	10	2.31%
無回答	21	4.86%	6	1.39%
計	432	100%	429	100%

(27) おいしい料理屋があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	15	3.47%	13	3.01%
そう思う	107	24.77%	90	20.83%
どちらともいえない	188	43.52%	191	44.21%
そう思わない	74	17.13%	93	21.53%
全くそう思わない	27	6.25%	33	7.64%
無回答	21	4.86%	9	2.08%
計	432	100%	429	100%

(28) 地域固有の特産品（農産物，水産物，畜産物，酒など）があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	27	6.25%	23	5.32%
そう思う	147	34.03%	158	36.57%
どちらともいえない	142	32.87%	146	33.80%
そう思わない	71	16.44%	85	19.68%
全くそう思わない	28	6.48%	14	3.24%
無回答	17	3.94%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(29) 伝統的な郷土料理があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	32	7.41%	44	10.19%
そう思う	197	45.60%	224	51.85%
どちらともいえない	117	27.08%	121	28.01%
そう思わない	47	10.88%	27	6.25%
全くそう思わない	21	4.86%	9	2.08%
無回答	18	4.17%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(30) 人と人との交流が活発な地域であると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	13	3.01%	20	4.63%
そう思う	70	16.20%	106	24.54%
どちらともいえない	215	49.77%	195	45.14%
そう思わない	88	20.37%	84	19.44%
全くそう思わない	26	6.02%	21	4.86%
無回答	20	4.63%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(31) 世代を超えた交流があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	7	1.62%	20	4.63%
そう思う	64	14.81%	102	23.61%
どちらともいえない	201	46.53%	189	43.75%
そう思わない	110	25.46%	94	21.76%
全くそう思わない	31	7.18%	22	5.09%
無回答	19	4.40%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(32) 住民とよそから来た人が交流できる雰囲気があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	2	0.46%	10	2.31%
そう思う	76	17.59%	99	22.92%
どちらともいえない	187	43.29%	192	44.44%
そう思わない	110	25.46%	88	20.37%
全くそう思わない	40	9.26%	36	8.33%
無回答	17	3.94%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(33) 住民同士が交流できる場があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	6	1.39%	10	2.31%
そう思う	109	25.23%	130	30.09%
どちらともいえない	188	43.52%	202	46.76%
そう思わない	87	20.14%	62	14.35%
全くそう思わない	23	5.32%	23	5.32%
無回答	19	4.40%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(34) 多様な価値観や趣味を持った人たちの交流の場があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	0	0.00%	1	0.24%
そう思う	44	10.68%	63	15.29%
どちらともいえない	196	47.57%	178	43.20%
そう思わない	124	30.10%	137	33.25%
全くそう思わない	48	11.65%	43	10.44%
無回答	20	4.85%	7	1.70%
計	432	100%	429	100%

(35) 地域に特徴的な気質、価値観があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	13	3.01%	35	8.10%
そう思う	112	25.93%	141	32.64%
どちらともいえない	178	41.20%	179	41.44%
そう思わない	80	18.52%	55	12.73%
全くそう思わない	28	6.48%	14	3.24%
無回答	21	4.86%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(36) 美しい街並みがあると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	13	3.01%	17	3.94%
そう思う	60	13.89%	94	21.76%
どちらともいえない	126	29.17%	148	34.26%
そう思わない	149	34.49%	130	30.09%
全くそう思わない	62	14.35%	34	7.87%
無回答	22	5.09%	6	1.39%
計	432	100%	429	100%

(37) 山, 川, 滝, 森林など豊かな自然があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	160	37.04%	202	46.76%
そう思う	206	47.69%	200	46.30%
どちらともいえない	32	7.41%	18	4.17%
そう思わない	12	2.78%	3	0.69%
全くそう思わない	5	1.16%	4	0.93%
無回答	17	3.94%	2	0.46%
計	432	100%	429	100%

(38) 地域固有の特徴のある草, 木, 花があると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	74	17.13%	124	28.70%
そう思う	182	42.13%	187	43.29%
どちらともいえない	112	25.93%	87	20.14%
そう思わない	36	8.33%	20	4.63%
全くそう思わない	10	2.31%	7	1.62%
無回答	18	4.17%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

付表3 両地区の地域ブランド価値評価

(1) 人の温かさを感じられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	26	6.02%	65	15.05%
そう思う	248	57.41%	256	59.26%
どちらともいえない	123	28.47%	84	19.44%
そう思わない	25	5.79%	16	3.70%
全くそう思わない	5	1.16%	4	0.93%
無回答	5	1.16%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(2) 人とのふれあいを感じられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	20	4.63%	45	10.42%
そう思う	209	48.38%	252	58.33%
どちらともいえない	162	37.50%	101	23.38%
そう思わない	30	6.94%	20	4.63%
全くそう思わない	6	1.39%	7	1.62%
無回答	5	1.16%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(3) 人と人との心のつながりが感じられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	18	4.17%	41	9.49%
そう思う	182	42.13%	215	49.77%
どちらともいえない	175	40.51%	128	29.63%
そう思わない	41	9.49%	30	6.94%
全くそう思わない	10	2.31%	9	2.08%
無回答	6	1.39%	6	1.39%
計	432	100%	429	100%

(4) その地域の仲間としての結びつきを感じられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	25	5.79%	34	7.87%
そう思う	195	45.14%	219	50.69%
どちらともいえない	161	37.27%	134	31.02%
そう思わない	38	8.80%	28	6.48%
全くそう思わない	8	1.85%	10	2.31%
無回答	5	1.16%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(5) 人に対して優しくなれると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	20	4.63%	34	7.87%
そう思う	222	51.39%	225	52.08%
どちらともいえない	160	37.04%	141	32.64%
そう思わない	21	4.86%	18	4.17%
全くそう思わない	5	1.16%	5	1.16%
無回答	4	0.93%	6	1.39%
計	432	100%	429	100%

(6) よそから来た人を温かく受け入れる土地柄だと思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	17	3.94%	36	8.33%
そう思う	182	42.13%	162	37.50%
どちらともいえない	167	38.66%	165	38.19%
そう思わない	43	9.95%	42	9.72%
全くそう思わない	18	4.17%	21	4.86%
無回答	5	1.16%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(7) その地域に住む人，集まる人たちの価値観に共感・共鳴できると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	10	2.31%	16	3.70%
そう思う	129	29.86%	111	25.69%
どちらともいえない	227	52.55%	247	57.18%
そう思わない	44	10.19%	41	9.49%
全くそう思わない	15	3.47%	10	2.31%
無回答	7	1.62%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(8) 家族や友人との絆を感じられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	29	6.71%	44	10.19%
そう思う	258	59.72%	250	57.87%
どちらともいえない	113	26.16%	112	25.93%
そう思わない	21	4.86%	12	2.78%
全くそう思わない	5	1.16%	5	1.16%
無回答	6	1.39%	6	1.39%
計	432	100%	429	100%

(9) 刺激が得られると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	6	1.39%	4	0.93%
そう思う	35	8.10%	32	7.41%
どちらともいえない	206	47.69%	173	40.05%
そう思わない	136	31.48%	168	38.89%
全くそう思わない	42	9.72%	48	11.11%
無回答	7	1.62%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(10) 感性が刺激されると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	10	2.31%	11	2.55%
そう思う	56	12.96%	66	15.28%
どちらともいえない	210	48.61%	179	41.44%
そう思わない	114	26.39%	132	30.56%
全くそう思わない	35	8.10%	38	8.80%
無回答	7	1.62%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(11) 贅沢な気分になれると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	6	1.39%	6	1.39%
そう思う	30	6.94%	43	9.95%
どちらともいえない	186	43.06%	149	34.49%
そう思わない	142	32.87%	160	37.04%
全くそう思わない	62	14.35%	66	15.28%
無回答	6	1.39%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(12) 誇りを感じられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	9	2.08%	11	2.55%
そう思う	64	14.81%	88	20.37%
どちらともいえない	224	51.85%	216	50.00%
そう思わない	100	23.15%	76	17.59%
全くそう思わない	29	6.71%	35	8.10%
無回答	6	1.39%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(13) 知的な気分を味わえると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	4	0.93%	1	0.23%
そう思う	27	6.25%	35	8.10%
どちらともいえない	204	47.22%	179	41.44%
そう思わない	137	31.71%	158	36.57%
全くそう思わない	50	11.57%	52	12.04%
無回答	10	2.31%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(14) 夢や目標に近づくことができると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	3	0.69%	2	0.46%
そう思う	19	4.40%	34	7.87%
どちらともいえない	194	44.91%	177	40.97%
そう思わない	146	33.80%	152	35.19%
全くそう思わない	61	14.12%	60	13.89%
無回答	9	2.08%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(15) 自分の知識や視野を広げてくれると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	4	0.93%	4	0.93%
そう思う	36	8.33%	56	12.96%
どちらともいえない	204	47.22%	176	40.74%
そう思わない	130	30.09%	139	32.18%
全くそう思わない	50	11.57%	51	11.81%
無回答	8	1.85%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(16) 創造性をかき立てられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	6	1.39%	5	1.16%
そう思う	48	11.11%	51	11.81%
どちらともいえない	199	46.06%	193	44.68%
そう思わない	131	30.32%	132	30.56%
全くそう思わない	41	9.49%	43	9.95%
無回答	7	1.62%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(17) 人生観を変えることができると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	6	1.39%	9	2.08%
そう思う	53	12.27%	55	12.73%
どちらともいえない	189	43.75%	175	40.51%
そう思わない	122	28.24%	144	33.33%
全くそう思わない	54	12.50%	42	9.72%
無回答	8	1.85%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(18) 安心した生活ができると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	11	2.55%	11	2.55%
そう思う	96	22.22%	98	22.69%
どちらともいえない	187	43.29%	179	41.44%
そう思わない	99	22.92%	106	24.54%
全くそう思わない	33	7.64%	30	6.94%
無回答	6	1.39%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(19) 経済的にゆとりのある暮らしができると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	4	0.93%	1	0.23%
そう思う	25	5.79%	30	6.94%
どちらともいえない	172	39.81%	182	42.13%
そう思わない	163	37.73%	157	36.34%
全くそう思わない	63	14.58%	56	12.96%
無回答	5	1.16%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(20) 老後も安心した暮らしができると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	4	0.93%	2	0.46%
そう思う	36	8.33%	33	7.64%
どちらともいえない	150	34.72%	155	35.88%
そう思わない	146	33.80%	164	37.96%
全くそう思わない	91	21.06%	72	16.67%
無回答	5	1.16%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(21) ストレスの少ない生活ができると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	13	3.01%	16	3.70%
そう思う	103	23.84%	109	25.23%
どちらともいえない	179	41.44%	181	41.90%
そう思わない	96	22.22%	93	21.53%
全くそう思わない	26	6.02%	27	6.25%
無回答	15	3.47%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(22) 神秘的な気分になれると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	8	1.85%	9	2.08%
そう思う	56	12.96%	74	17.13%
どちらともいえない	174	40.28%	167	38.66%
そう思わない	142	32.87%	140	32.41%
全くそう思わない	34	7.87%	34	7.87%
無回答	18	4.17%	5	1.16%
計	432	100%	429	100%

(23) 原風景を思い起こさせられると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	27	6.25%	37	8.56%
そう思う	139	32.18%	168	38.89%
どちらともいえない	169	39.12%	149	34.49%
そう思わない	62	14.35%	61	14.12%
全くそう思わない	14	3.24%	10	2.31%
無回答	21	4.86%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(24) 日常から解放された気分になれると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	15	3.47%	13	3.01%
そう思う	96	22.22%	101	23.38%
どちらともいえない	187	43.29%	185	42.82%
そう思わない	96	22.22%	96	22.22%
全くそう思わない	22	5.09%	30	6.94%
無回答	16	3.70%	4	0.93%
計	432	100%	429	100%

(25) 新しい人間関係が広がると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	5	1.16%	8	1.85%
そう思う	49	11.34%	61	14.12%
どちらともいえない	210	48.61%	180	41.67%
そう思わない	112	25.93%	137	31.71%
全くそう思わない	40	9.26%	40	9.26%
無回答	16	3.70%	3	0.69%
計	432	100%	429	100%

(26) 充実した毎日が送れると思う	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くそう思う	7	1.62%	10	2.31%
そう思う	64	14.81%	68	15.74%
どちらともいえない	235	54.40%	144	33.33%
そう思わない	75	17.36%	77	17.82%
全くそう思わない	34	7.87%	26	6.02%
無回答	17	3.94%	4	0.93%
計	432	100%	329	100%

付表4 隣地区へのつながりや親近感, 訪問意向

(1) 歴史的や文化的なつながりがあると思いますか。	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くあると思う	25	5.8%	21	4.9%
あると思う	190	44.0%	166	38.4%
どちらとも言えない	133	30.8%	153	35.4%
無いと思う	54	12.5%	60	13.9%
全く無いと思う	18	4.2%	15	3.5%
無回答	12	2.8%	14	3.2%
計	432	100%	429	100%

(2) 親近感はありますか。	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くあると思う	14	3.2%	15	3.5%
あると思う	139	32.2%	111	25.7%
どちらとも言えない	161	37.3%	158	36.6%
無いと思う	74	17.1%	92	21.3%
全く無いと思う	31	7.2%	38	8.8%
無回答	13	3.0%	15	3.5%
計	432	100%	429	100%

(3) これから交流を深めたいですか。	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くあると思う	43	10.0%	67	15.5%
あると思う	216	50.0%	219	50.7%
どちらとも言えない	138	31.9%	110	25.5%
無いと思う	20	4.6%	15	3.5%
全く無いと思う	3	0.7%	5	1.2%
無回答	12	2.8%	13	3.0%
計	432	100%	429	100%

(4) 八十里開通後, 足を運びたいですか？	下田地区	構成比	只見町	構成比
強くあると思う	128	29.6%	146	33.8%
あると思う	209	48.4%	204	47.2%
どちらとも言えない	55	12.7%	48	11.1%
無いと思う	12	2.8%	12	2.8%
全く無いと思う	3	0.7%	4	0.9%
無回答	25	5.8%	15	3.5%
計	432	100%	429	100%

本稿で採用した「地域ブランド資産・価値」に関する調査項目の一覧は付表5、6の通りである。

付表5 設問1-1の居住地区に対する地域ブランド資産評価の調査項目

No	調 査 項 目
1	歴史を感じさせる場所があると思う
2	伝統文化の保存に積極的であると思う
3	芸術、伝統芸能などの文化的な活動が盛んであると思う
4	地域に受け継がれている独自の芸術、伝統芸能があると思う
5	歴史的なまち並みが残っていると思う
6	芸術や伝統芸能などの文化を身近に体験できる場があると思う
7	歴史上有名な物語があると思う
8	芸術や伝統芸能などの文化に対する住民の興味が高いと思う
9	歴史上有名な人物を輩出していると思う
10	地域で受け継がれている生活文化があると思う
11	芸術家や文化人に好まれる場所があると思う
12	文化施設がよく利用されていると思う
13	物価が高くなく、生活費の負担が少ないと思う
14	生活が便利であると思う
15	新しい文化の受け入れ、育成に積極的であると思う
16	良質の温泉があると思う
17	子育てしやすい環境であると思う
18	教育に熱心な地域であると思う
19	医療機関が充実していると思う
20	福祉サービスが充実していると思う
21	働く場が充実していると思う
22	地域内での交通機関が発達していて、移動に便利だと思う
23	経済・商業の中心となる産業があり、地域の活性化に貢献していると思う
24	魅力的な宿泊施設があると思う
25	その地域を代表する食べ物があると思う
26	食べ物がおいしいと思う
27	おいしい料理屋があると思う
28	地域固有の特産品（農産物、水産物、畜産物、酒など）があると思う
29	伝統的な郷土料理があると思う
30	人と人との交流が活発な地域であると思う
31	世代を超えた交流があると思う
32	住民とよそから来た人が交流できる雰囲気があると思う
33	住民同士が交流できる場があると思う
34	多様な価値観や趣味を持った人たちの交流の場があると思う
35	地域に特徴的な気質、価値観があると思う
36	美しい街並みがあると思う
37	山、川、滝、森林など豊かな自然があると思う
38	地域固有の特徴のある草、木、花があると思う

付表6 設問1-2の居住地区に対する地域ブランド価値評価の調査項目

No	調 査 項 目
1	人の温かさを感じられると思う
2	人とのふれあいを感じられると思う
3	人と人との心のつながりが感じられると思う
4	その地域の仲間としての結びつきを感じられると思う
5	人に対して優しくなれると思う
6	よそから来た人を温かく受け入れる土地柄だと思う
7	その地域に住む人, 集まる人たちの価値観に共感・共鳴できると思う
8	家族や友人との絆を感じられると思う
9	刺激が得られると思う
10	感性が刺激されると思う
11	贅沢な気分になれると思う
12	誇りを感じられると思う
13	知的な気分を味わえると思う
14	夢や目標に近づくことができると思う
15	自分の知識や視野を広げてくれると思う
16	創造性をかき立てられると思う
17	人生観を変えることができると思う
18	安心した生活ができると思う
19	経済的にゆとりのある暮らしができると思う
20	老後も安心した暮らしができると思う
21	ストレスの少ない生活ができると思う
22	神秘的な気分になれると思う
23	原風景を思い起こさせられると思う
24	日常から解放された気分になれると思う
25	新しい人間関係が広がると思う
26	充実した毎日が送れると思う

付表7 設問3の隣地区へのつながりや親近感, 訪問意向の調査項目

No	調 査 項 目
1	歴史的や文化的なつながりがあると思いますか。
2	親近感がありますか。
3	これから交流を深めたいですか。
4	八十里開通後, 足を運びたいですか？
5	福島県南会津郡只見町の行ってみたい場所, 催し物について教えて下さい。 (自由回答)